

田村のつぶやき 第16号

2024.1.16 発行

文責：島根県立江津高等学校長 田村康雄

人生は敗者復活戦

2022年の夏の甲子園で仙台育英学園高等学校の野球部を優勝に導き、宮城県のみならず、東北県勢としても悲願であった全国制覇を達成。決勝戦後の優勝インタビューで発言された「青春って、すごく密なので」という言葉が、その年の新語・流行語大賞の候補にノミネートされ、選考委員特別賞を受賞（ちなみにこの時の大賞は「村上様」、昨年の大賞は「アレ(A.R.E.）」でした）。昨夏は決勝戦で神奈川県代表の慶応高校と対戦し、惜しくも2連覇は逃すものの準優勝。みなさん、この監督さんの名前がわかりますか？

知っている人も多いと思いますが、仙台育英野球部の須江 航(すえ わたる)監督です。実は、昨年8月25日に宮城県仙台市で開催された高等学校PTA連合会の全国大会で記念講演の講師を務められ、私もこの大会に参加してお話を聴いてきました。PTAの全国大会の2日前の8月23日が甲子園の決勝戦でしたので、おそらく次の日に仙台にお帰りになり、その翌日にこの講演会という超ハードスケジュールだったと思います。もしも雨天順延で試合日程がずれ込んでいたら、講演会はキャンセルになっていたかもしれません。

この時の須江監督の講演の演題は「伝わる言葉・失敗から学ぶ ～しなやかな強さで生き抜く力～」でした。以下、講演の中で監督がお話しになった言葉をいくつか紹介します。

- 人生は敗者復活戦
失敗から学ぶ、失敗を許容し挑戦することが大切
人生はトライ・アンド・エラーの繰り返し、現状維持は衰退
大切なのは挫折との向き合い方
- コミュニケーションは重要
大切なものは想像力、何か言う前に相手のことを想像してみる
伝わる言葉は相手が聞きたい言葉
- 自分の価値観と異なることを認める多様性、柔軟性が求められる
- 何事に対しても肯定的に
- 人生を1度だけ変えてみる（いきなり90度も180度も変えることはできない）
- お互いに高め合う存在としてのライバルとともに成長する

野球の指導という範疇を超えて、我々にも大きな示唆を与えてくれる言葉の数々です。失敗から学ぶことについては、第11号でも触れましたので、そちらも読み返してください。

【大学入学共通テスト終わる】

1月13日（土）・14日（日）に大学入学共通テストが実施されました。大学受験に向かう人は、これから勝負です！最後まであきらめず、目標の実現に向かって最大限の努力を続けてください。